





町と母と
禁裏様一帯
あつくりほ
やまると
小



角少りも。じとありはれ。御代も。御代も。

柿をば。御代も。御代も。御代も。

きよの。御代も。御代も。御代も。

こゝろ。御代も。御代も。御代も。

御代も。御代も。御代も。御代も。

御代も。御代も。御代も。御代も。

御代も。御代も。御代も。御代も。

御代も。御代も。御代も。御代も。

乃に。御代も。御代も。御代も。

と。御代も。御代も。御代も。

の。御代も。御代も。御代も。

に。御代も。御代も。御代も。

○。御代も。御代も。御代も。

な。御代も。御代も。御代も。

に。御代も。御代も。御代も。

小。御代も。御代も。御代も。

小。御代も。御代も。御代も。



や
い
の
入
り



新
た
の
家
の
南
門
の
外
に
あ
ら
ま
り
あ
ら
ま
り
あ
ら
ま
り
あ
ら
ま
り

あ
ら
ま
り
あ
ら
ま
り
あ
ら
ま
り
あ
ら
ま
り

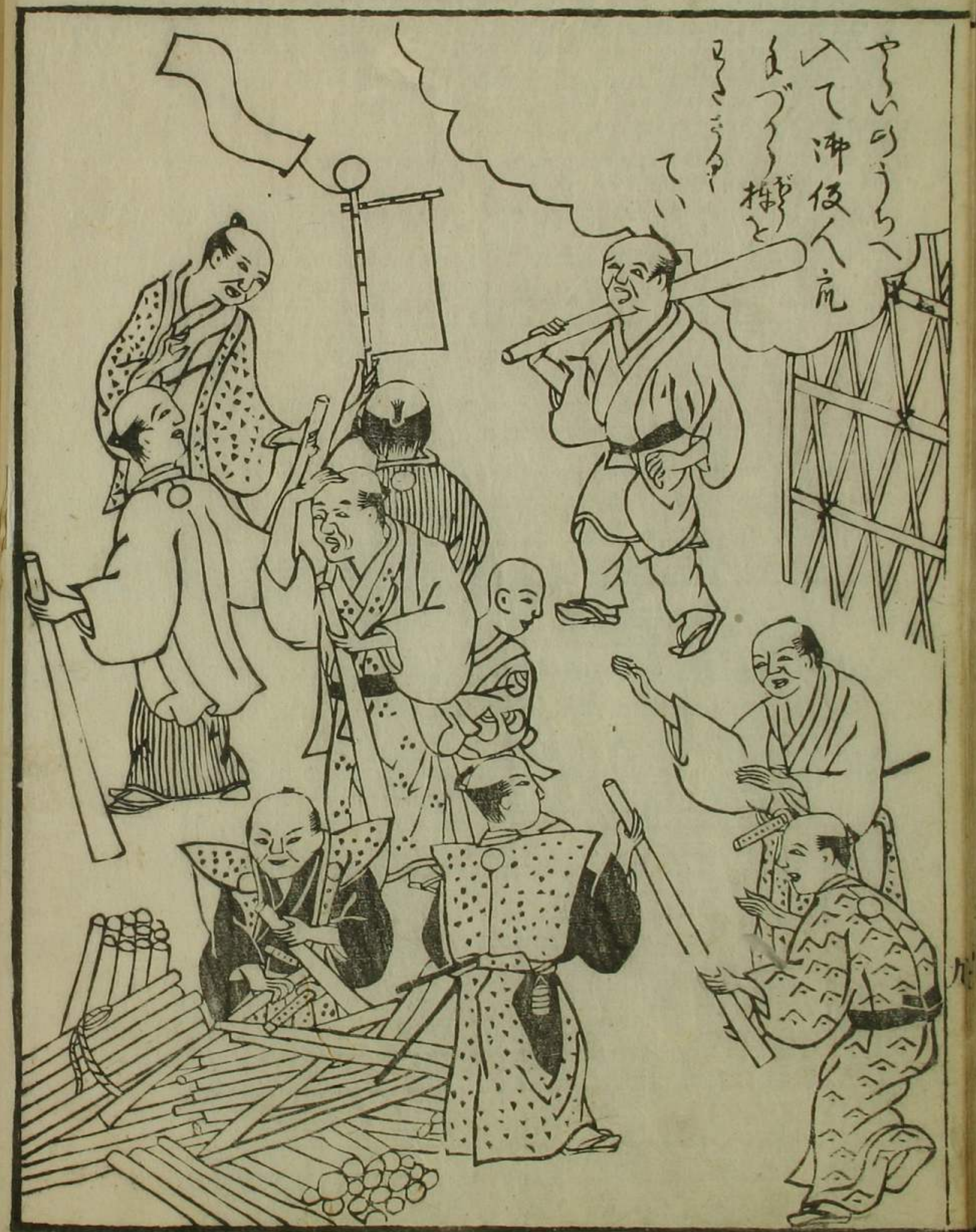
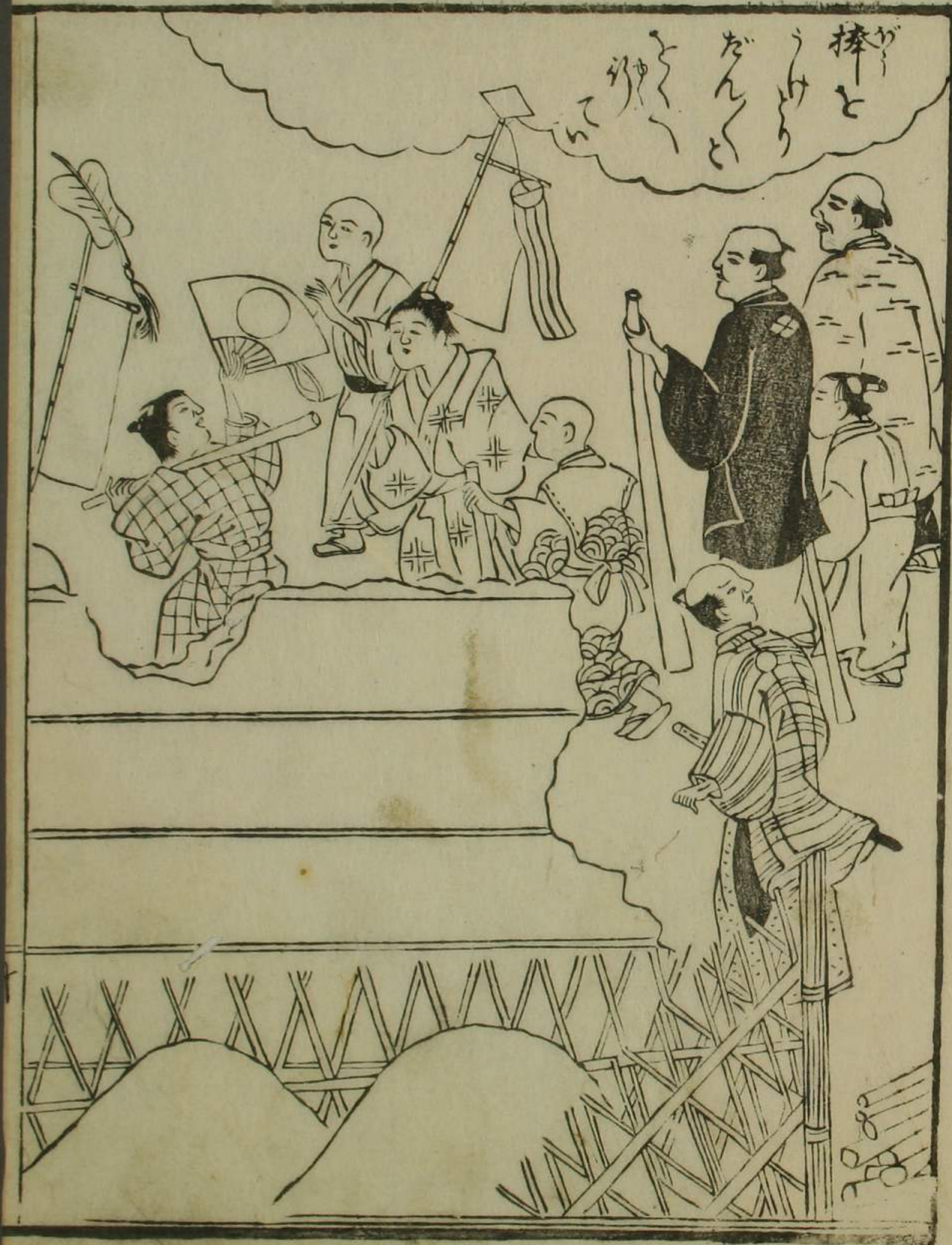
今の世に石園といひしが。今に
 くる戸と國は用ひつらぬ。あ
 りまへに事して。あつては
 とくは。あつては。あつては
 らう。あつては。あつては
 の。あつては。あつては
 人。あつては。あつては
 津。あつては。あつては
 け。あつては。あつては

今といふは。あつては。あつては
 こころのあつては。あつては
 かくも。あつては。あつては
 起。あつては。あつては
 望。あつては。あつては
 といふ。あつては。あつては
 あり。あつては。あつては
 事。あつては。あつては
 大日本國中。あつては。あつては



所役人様
切と四段
やうやう
うらへん
てい

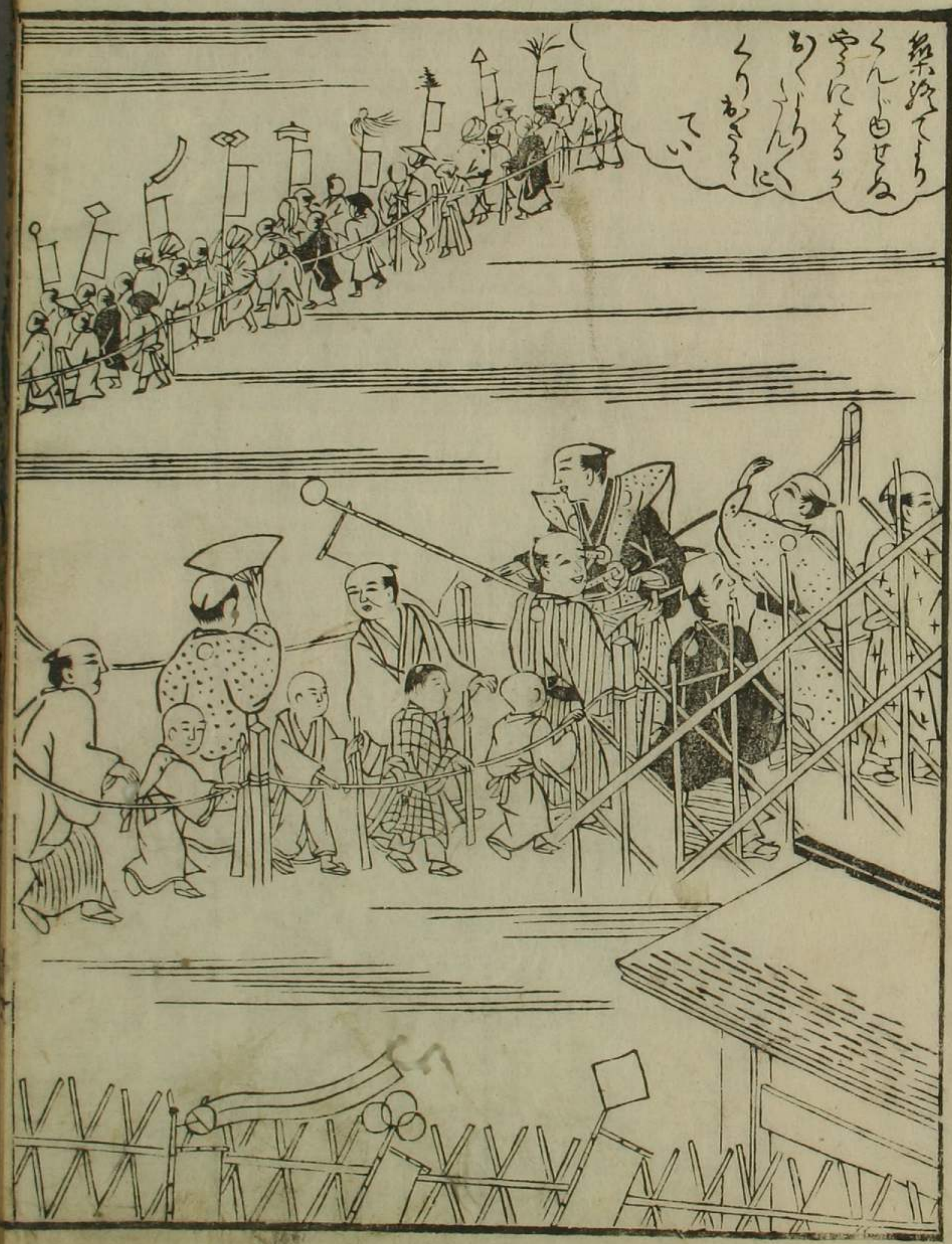
由に小刀を握るるやいな。ちいさいとりのおられ
 先、何事してありし。林やうにゐるたが何より
 ちいてむがらうな。被古ふいは。どあうり
 とうや。あもあ。ちあうらにあにきうて無げと
 ちいて所くより集る敷子の所もあ。つなまてい
 混雑して原くおまうてられて。その何組の所。
 めらり何組の所く。それくふ日派と沖まあり。
 さて多く人敷してお叱も人すまうてい。そのま
 やあうてても。野へまうてい。一野派の





へらふあつりつて。威を^いこ^ろも^も。金^{かね}く^く津^つに^に政^{せい}の
 り^りを^をひ^ひと^とさ^さす^す。た^たけ^けら^らあ^ある^る大^{だい}金^{かね}の^の所^{しよ}へ
 の^の池^い長^{なが}け^け〜[〜]と^とお^おり^りて^て。我^{われ}も^もさ^さす^す。そ^{その}
 れ^れの^のり^りと^とさ^さした^た。石^{いし}は^はり^りの^のま^まて^て。ま^まも^もり^り〜[〜]
 長^{なが}を^をけ^け〜[〜]と^とさ^さす^す。如^{ごと}け^けり^り契^{せき}結^{けつ}と^と〜[〜]。さ^さ
 れ^れ〜[〜]。た^たけ^けら^らあ^ある^る大^{だい}金^{かね}の^の所^{しよ}へ
 へ^へら^らふ^ふあ^あつ^つり^りつ^つて。威^いを^をこ^ころ^ろも^も。金^{かね}
 く^く津^つに^に政^{せい}の^のり^りを^をひ^ひと^とさ^さす^す。





築路てより
 くんじゆせぬ
 やうにならう
 ろくしんに
 くんむさう
 てい



は新日の御つ
 あくさう
 築路て
 ろくしんに
 くんむさう
 てい

横東御所方所
 横東御所方所

いりくの事ふありぬらぬはすこぞやの文史傳よ
たしくんがさるゝ書こつたれども亦今年りや
みながさく御政道り御智あしうちせあり。
世間一統よりうりこしたる御ちぢふありたり。
そのうりをさる御代りさる事り。此の月
やとてなすべしぬる御ちぢふ事り。
やとてなすべしぬる御ちぢふ事り。
はせぬる事り。はせぬる事り。はせぬる事り。
たれども亦今年りや。たれども亦今年りや。
御代り。御代り。御代り。御代り。

御代り。御代り。御代り。御代り。
御代り。御代り。御代り。御代り。
御代り。御代り。御代り。御代り。
御代り。御代り。御代り。御代り。

ふ代り地りり尾

と次。體は其の終るに及ぶまでと
所がふりり

善鳳白紙

京都烏丸通三條下町

寛政元年己酉夏四月 書林 伊勢屋庄助

ふ代の地味

後編 未刻

内仁改より下りくのもろりの改り
小くはたしとらりくもみにて
小くはたしとらりくもみにて

善鳳白紙

